

産業水道常任委員会会議記録

日 時 平成31年1月10日（木曜日）

午後 1時32分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午後 1時59分 散会

付託事件

- (1) 平成29年陳情第1号, 平成30年陳情第1号
- (2) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 陳情審査

- ① 平成29年陳情第1号 農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情
- ② 平成30年陳情第1号 主要農作物種子法の復活等を求める陳情

(2) 報告事項

- ① 水戸市市制施行130周年記念プレイベント 第123回水戸の梅まつりについて (観光課)
- ② 第40回記念磯節全国大会について (観光課)

(3) その他

2 出席委員（7名）

委員長	小川勝夫君	副委員長	堀江恵子君
委員	田口文明君	委員	栗原文隆君
委員	渡辺政明君	委員	五十嵐博君
委員	内藤丈男君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（なし）

5 説明のため出席した者の職、氏名

産業経済部長	小田木健治君	産業経済部参	川崎幹男君
産業経済部技監兼農政課長	深澤和広君	商工課長	小林一仁君
観光課長	堀江博之君	農業環境整備課長	小田博之君
農業技術センター所長	清水健司君	公設地方卸売市場長	武田和馬君
水道事業者管理	檜山隆雄君	水道部長	伊藤俊夫君
水道部参事兼経理課長	青木貴君	水道総務課長	梶山哲君

料金課長	島	孝夫	君	水道整備課長	杉山	健一	君
給水課長	梶山	学	君	浄水管理事務所 事務長	川原井	正浩	君
農業委員会 事務局長	横山	英雄	君	農業委員会 事務局次長	吉川	正浩	君
6 事務局職員出席者							
法制調査係長	富岡	淳	君	書記	大内	しおり	君

午後 1時32分 開議

○小川委員長 御苦勞さまでございます。また本年も昨年同様よろしくお願いを申し上げます。

それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから産業水道委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、陳情審査を行います。

当委員会に付託され、継続審査となっております平成29年陳情第1号 農業者戸別所得補償制度の復活を求める陳情、平成30年陳情第1号 主要農作物種子法の復活等を求める陳情につきましては、継続審査にいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 それでは、御異議なしと認め、継続審査といたします。

以上で陳情審査を終わります。

次に、報告事項の説明を行います。

初めに、水戸市市制施行130周年記念イベント 第123回水戸の梅まつりについて、執行部より説明を願います。

堀江観光課長。

○堀江観光課長 報告案件に入る前に、2019年水戸の梅大使を紹介させていただきたいと存じます。

〔水戸の梅大使入室〕

○堀江観光課長 一同、礼。

県内外70名の応募者の中から選ばれました2019年水戸の梅大使を自己紹介にて御紹介させていただきます。

お手元には2019年水戸の梅大使10名の名簿がございますので、御参照願います。

なお、本日は、8番、山城佑香が欠席でございますので、9名の紹介とさせていただきます。

それでは、自己紹介をお願いします。

○飯塚水戸の梅大使 皆様、こんにちは。私たちは2019年水戸の梅大使です。

私は、飯塚たまきと申します。

○渡辺水戸の梅大使 渡辺莉沙と申します。

○鬼沢水戸の梅大使 鬼沢美賀子と申します。

○川崎水戸の梅大使 川崎美佳と申します。

○石川水戸の梅大使 石川夕菜と申します。

○犬塚水戸の梅大使 犬塚真桜と申します。

○高根澤水戸の梅大使 高根澤咲耶と申します。

○浅倉水戸の梅大使 浅倉千夏と申します。

○照山水戸の梅大使 照山百菜と申します。どうぞ……

○水戸の梅大使 よろしくお願いをいたします。

○堀江観光課長 以上で、2019年水戸の梅大使の紹介を終わります。

皆様、1年間御指導のほどよろしくお願いたします。一同、礼。

○水戸の梅大使 よろしくお願いたします。

○堀江観光課長 梅大使は回れ右をしてください。一同、礼。

○水戸の梅大使 よろしくお願いたします。

○堀江観光課長 梅大使は正面を向いてください。

それでは、退室してください。

〔水戸の梅大使退室〕

○堀江観光課長 それでは、観光課提出の資料によりまして、水戸市市制施行130周年記念プレイベント第123回水戸の梅まつりについて御説明いたします。

水戸市市制施行130周年記念プレイベント 第123回水戸の梅まつりは、四季観光の一環として、日本遺産の偕楽園、弘道館を中心に開催し、観光客を誘致し、本市観光の発展と産業経済の振興に寄与することを目的として、水戸の梅まつり実行委員会の主催により、平成31年2月16日土曜日から3月31日日曜日までの44日間にわたり開催いたします。会場は、偕楽園及び弘道館です。

6の行事（予定）につきましては、梅まつり期間中の土曜日、日曜日に、みとちゃんお誕生会や野点茶会、ひな流し、大撮影会と写真コンテストなど、さまざまなイベントを開催してまいります。

特に今回は、市制施行130周年を迎えるに当たり、梅まつりの初日である2月16日に、書道パフォーマンスや三味線奏者のライブ等によるオープニングスペシャルステージ「和」を開催するとともに、水府提灯を持ちながら夜の観梅を楽しめる夜・梅・祭や、観梅着物Dayなど和を意識したイベントを開催してまいります。

2ページをごらんください。

好文亭いけばな展示や、観光漫遊バスの催行で市内回遊性の向上を図るほか、八卦堂・孔子廟特別公開など弘道館イベントを開催してまいります。

続きまして、3ページをごらんください。

水戸観光コンベンション協会が開催いたします7の協賛事業といたしましては、水戸東照宮を会場に開催する水戸の新酒まつりや、全国の梅酒を味わえる全国梅酒まつりin水戸を常磐神社境内において開催するなど、多くの来場者の確保に努めてまいります。

8の協賛行事につきましては、水戸市植物公園の早春の花まつりから第8回水戸観梅ウォークまでの4つの行事を、4ページ、9のその他の行事として、水戸のひなめぐりから5ページの水戸の梅まつり期間限定、偕楽園周辺文化施設の2館目からの特別割引まで13の行事が開催されますので、それぞれの行事と連携し、来訪者の回遊性を高めることに努めてまいります。

10のボランティアにつきましては、ボランティア団体である歴史アドバイザー水戸や水戸黄門愛好会、わらじ愛好会などボランティア団体による案内や写真撮影等のほか、水戸黄門倶楽部による「梅の駅」観光案内、水戸市内中学校17校生徒の中学生ボランティア、チーム魁によるパンフレットの配布及び園内案内、五軒小学校児童の子ども梅大使による偕楽園記素読の披露など、水戸の梅まつりの来場者のおもてなしに努めてまいります。

6ページをごらんください。

11の広報につきましては、観光キャンペーンや近隣市町、市内各新聞社等の表敬訪問、ポスター及びパンフレット等のほか、記載の内容で周知を図ってまいります。

12の今回の特色、見直し事項につきましては、(2)2月16日、17日、23日に、JRによるアニメ「続『刀剣乱舞－花丸－』」の特別列車運行や、(3)茨城県のアテナショップ、IBARAKI sense (いばらきせんす)でのPRの実施、(4)インバウンド対応として、台湾、中国の旅行会社向けの情報発信、(5)印刷物とデジタルデータを融合させたパンフレットの製作、(6)山梨県笛吹市との連携による梅と桃をテーマとした共同キャンペーンなど、さまざまな誘客促進の取り組みを行ってまいります。

説明は以上でございます。

○小川委員長 ありがとうございます。

ただいまの内容について、何か御質問等がございましたらば発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 今御報告いただきまして、盛りだくさんというふうなことで、本当に内容の濃い充実した130年記念の水戸の梅まつりになるという大きな期待を持ったところでございます。

二、三点だけちょっと内容を聞かせていただきたいんですけども、この夜・梅・祭に水府提灯を使うというふうな話がありましたね。それは具体的にどういう方法でやるんですか。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えします。

夜・梅・祭での水府提灯を活用した散策でございますが、市のほうで今回、水府提灯を購入いたしまして、観光客の方に水府提灯を貸し出して、夜の梅林を楽しんでいただけるような仕掛けということで、今回初めての試みでございます。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 すばらしいアイデア、また企画かなというふうに感じました。ということが、この水府提灯、水戸は日本三大産地の一つですよ、八女、岐阜と並び称される水府提灯なので。恐らく弓張提灯なのかな、手にこう持つやつでしょう。弓張りの提灯になるのかと思うんですけども、その水府提灯のPRも兼ねながら、ぜひ、この優雅な、また、夜の梅林を提灯で飾るなんていうのは非常にいいことだと思いますので、頑張ってくださいと、成功をお祈りいたしております。

それとあともう一つ、今回の特色、見直し事項ということで、7項目にわたっていろいろあるんですけども、本当にどれをとってみても、今の時流に合った、例えば「刀剣乱舞－花丸－」とかね、燭台切光忠とか、そういうものを組み込んだ非常に夢のある事業、見直し事項だと私は思っておりますので、これらについてもぜひ成果が上がるように、産業水道委員会一致団結して取り組んでいただきたいというふうなことを意見として述べておきます。

以上です。

○小川委員長 ほかにございませんか。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 ちょっと教えていただきたいんですけども、5ページのところに8館の施設がありますね。好文亭や弘道館などに最初に行くと、次の施設でその券を提示して特別割引が受けられると。ちょっともう少し細かく教えていただければと思います。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えいたします。

水戸の梅まつりの期間限定の偕楽園周辺文化施設の2館目からの特別割引等の特典に関する御質問でございますが、梅まつりの期間中に、ここに記載されている8館にまず入りまして、次の2館目に半券をお示ししますと、例えば偕楽園の好文亭は200円で入れますが、2館目からは150円になりますとか、例えば徳川ミュージアムでございますれば、1,200円のところが、2館目に入館された場合、半券を示した場合には1,080円になるといった特典でございます。

○小川委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 ありがとうございます。

いずれにしても、1回入ったその半券を持っていくと割引になるということで、それはどういう形で広報されているというか、その施設それぞれのところにも、わからないで捨てちゃうということももったいないような気がするし、どういうふうな説明というか、そういうのはされているのか、ちょっと合わせてお願いします。

○小川委員長 では、堀江観光課長。

○堀江観光課長 はい、お答えいたします。

それぞれの割引のPRについてでございますが、それぞれの施設のPRチラシに掲載することはもちろんでございますが、今お配りしております水戸の梅まつりのパンフレットの11ページの左下になりますが、緑色で囲まれた枠のところで掲載するなどPRに努めまして、回遊性を高め、観光振興につなげてまいりたいと考えてございます。

○小川委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 はい、わかりました。ありがとうございます。

いい企画ですし、成功すると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、このイベントがたくさんありますけれども、水戸駅でも絡んでありますし、あと千波湖もありますけれども、今どちらも工事されていると思うんですが、その辺はこの観梅の梅まつりの時期には終わる予定なのかどうか、ちょっとわかれば教えていただければと思います。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 ただいまの御質問にお答えいたします。

例年、梅まつりの期間中には、年度末ということで工事が重なることがございます。これらにつきましては、照会をかけまして、できるだけ早期に、その梅まつり期間中には工事がかぶらないようお願いしているところでございます。また、工事中ということで、道路であれば安全性の確保ということもございまして、そういった把握に努めて、観光客の方にも安全に梅まつりを楽しんでいただけるよう周知をまいりたいと考えてございます。

○小川委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 では、ないようですので、次に、第40回記念磯節全国大会について、執行部より説明を願います。

堀江観光課長。

○堀江観光課長 それでは、第40回記念磯節全国大会について、観光課提出の資料に基づきまして御説明させていただきます。

第40回記念磯節全国大会は、日本三大民謡の一つ、磯節の普及と保存伝承を図るとともに、磯節発祥の地、水戸市、ひたちなか市、大洗町を全国に紹介することを目的として、磯節全国大会実行委員会の主催により開催いたします。

出場者の参加資格につきましては、幅広い年代からたくさんの方に御参加いただけるように、18歳以上の方を対象とする一般の部のほか、小学生から17歳までを対象とする少年少女の部と、80歳以上の方を対象とする寿の部を設け、3部構成としております。なお、80歳以上の方でも一般の部に参加することは可能であります。

応募期限は先週の土曜日の1月5日で、既に応募を締め切っております。応募人数は、現在集計中でございます。

予選会につきましては、2月2日土曜日と3日日曜日の2日間にわたり大洗文化センターで行います。参加人数は約400名と見込んでおり、一般の部上位30名が決戦会に出場、少年少女の部と寿の部は上位数名が入賞となり、決戦会で歌の披露を可能といたします。予選会の入場料は無料です。

決戦会は、2月11日月曜日、建国記念の日に茨城県立県民文化センターの大ホールにおいて開催し、優勝1名、準優勝1名、第3位1名、入賞7名が決定されます。

また、アトラクションとして、日本民謡協会全国大会総合優勝者や前回大会優勝者の歌の披露などがございます。入場料は、前売り券2,000円、当日券2,500円となっております。

広報につきましては、ポスター、チラシ、各種メディアによるPRを行ってまいります。

9の今回の特色、見直し事項でございますが、第40回記念特別ゲストとして、津軽手踊りで有名な石川流二代目、石川久美子社中をお迎えいたします。また、民謡のよさを若い世代の方にも知ってもらうため、決戦会の入場が無料となる対象を小学生から大学生までに拡大しております。

説明は以上でございます。

○小川委員長 ありがとうございます。

内容について何か御質問等がございましたらば発言を願います。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 質問というわけではございませんけれども、全国でも全国大会とか世界大会とかがそれぞれ行われております。その中において、例えば世界オセロ選手権は水戸でも行っていますけれども、こうした全国大会というのも、水戸で行われている数少ない事業かなというふうに思っております。

そういった意味で、資料の9番目の(1)に第40回記念特別ゲストとしてというふうにはございますけれども、長くこれまで続いている全国大会で、40回という節目、次は50回かと思いますが、こういうところで何かちょっとまた工夫をしていただいて、内外ともにアピールする意味で、その40回の節目に何かできないかなというのを今思いましたので、一言要望をしておきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

またこれに関連して、筑波山唄もここ数年、全国大会が水戸で行われるようになりました。こうしたことも含めて、せっかく行われている、全国から人が来る大会で水戸をPRする最大のチャンスだと思いますので、こいったところにも力を入れていただいて、さらなる水戸市の発展、PRにつなげていけたらなというふうに思いますので、ぜひ御検討いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

以上です。

○小川委員長 ほかにはございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたらば、発言のほど願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 正月なので簡単に、ちょっと聞きたいことがあったものですから。

水戸黄門まつりがリニューアルするという事で、市長さん等はあちらこちらで御挨拶の中でお話しているというようなことは前にも言ったと思うんです。今まで黄門まつりのリニューアルについて報告を受けたのが、一昨年11月21日ですか、この資料を1枚いただいたんですね。この21日にいただいた資料ですと、このリニューアルをする趣旨とか組織、企画委員会、リニューアル検討部会のメンバー等、あと裏のほうにスケジュールというふうなことが記載されていて、具体的な内容というのは載っていなかったわけですね。1月17日ですか、このリニューアルについて水戸黄門まつり実行委員会が開かれるということなんですけれども、我々委員会のほうに、具体的にどういうリニューアルをするんだというようなこの報告がですね、いまだにないというふうなところで、何か具体的にはもう素案ができていますか。

○小川委員長 堀江観光課長。

○堀江観光課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

黄門まつりのリニューアルについての報告でございますが、委員のおっしゃるとおり、1月17日に、議員の皆様も参与となっております水戸黄門まつり実行委員会を開催しまして、最終的なリニューアル案を決定する見込みでございます。決定され次第、速やかに委員会のほうにも報告してまいりたいと考えてございます。

○小川委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 報告はありがたいんですけども、参与になっていて、私も余り、観光、この水戸黄門まつり実行委員会とかそういうのに不参加という、非常に成績が悪いので申しわけないんですけども。要は、ちまたでは、やれ、下市は黄門パレードがもうなくなっちゃったんですよとかね、もう去年の何だか夏ぐらいからそういう話になっていてね、誰の話が本当なのかなど、こうちょっと思ったりもしていたんですよ。や

はり具体的にそういうものが出てくるときには、例えばそれに対応するかわりのものはこんなことがありますよとか、やっぱりそういうのもしっかき準備して報告に入らないと、やはりそういううわさ話ばかりが先行してね、一般市民なり、また、この参加している団体なりに混乱を来す。そういうことになりかねないというふうにちょっと感じていたものですから、本当にわかっていることがありましたら、やっぱり逐一、委員会に報告をするというのは、もう大事なことであって、ややもすると議会軽視という話になりかねないので、ということは、一般の市民の人に、いや、こういう話を聞いているんだけど聞いていますかと言われても、全然聞いていなければね、話しようがないんでね。そうでしょう。

だからやっぱりうわさというのは、人の口には戸は立てられないので、例えば軽々しく市長さんが、下市のほうのパレードはありませんよなんていうことをしゃべられちゃうと、何だ委員会でも聞いてねえのという話になりかねないんだよ。だからやはりそれには、慎重、かつ、例えばその対応策も踏まえて、きちっと準備をして、そういうものを発表するというふうにしていただかないと、ちょっとまずいのかなというふうな気がしておりますので、17日は私は行けるか行けないかわからないんだけど、そのときにきっと具体的な案が出ると思うので、その後、それが確定になっちゃうのか、それともまた委員会としてそういう意見を求められるのか、そういうところもちょっと未定なので、その辺も含めて対応をよくお考えいただきたいというようなことを意見として述べておきます。

以上です。

○小川委員長 ただいまの渡辺委員からの質問を踏まえて、実行委員会のほうの中で決まれば、まとまった話であれば逐一、委員会のほうにできるだけ情報としてきちんと流していただきたいというふうな要望もございました。それを踏まえて、堀江課長、よろしく願いをいたします。

ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○小川委員長 それでは、以上をもちまして本日の産業水道委員会を散会いたします。

午後 1時59分 散会